

VDEC だより

2014年
1月 15日
第 19 号

- ◆ 平成26年度チップ試作スケジュール
- ◆ 平成26年4月から消費税改定に伴いチップ試作費用が改定されます
- ◆ 第8回 D2Tシンポジウムを開催しました
- ◆ VDEC デザインアワード募集のお知らせ
- ◆ 春の CAD 講習会のお知らせ
- ◆ CADツール利用状況アンケート・VDEC利用成果論文等の登録・チップ試作レポートに関するお願い
- ◆ 2014年度CADツール利用登録について

VDEC からの大事なお知らせです。

同じ内容は
<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/Tayori/>
にも掲載されています。



◆平成26年度チップ試作スケジュール

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CHIP/ChipSchedule.html>

平成26年度のチップ試作スケジュールは以下のとおりとなっております。このほか、平成25年度に STARC の援助により実施した ST28nmCMOS FDSOI 試作を定常化していきたいと考えております。試作申込、設計締切などぜひ計画的に期限を守って御活用いただきますようお願いいたします。なお、試作申込締切後でも試作枠に余裕があります場合には試作の追加申込みを受け付ける場合もございますが、試作の運用上、申込期間中のお申込みにご協力いただきますようお願いいたします。詳細・最新情報は VDEC の WEB を参照ください。 (池田 誠)

申込締切

設計締切

試作ラン

| | | | |
|------------|-----------|------------|-----------|
| 2013/11/4 | 2014/1/27 | ローム0.18um | 平成25年度第5回 |
| 2014/1/10 | 2014/3/24 | Onsemi-三洋* | 平成25年度第2回 |
| 2014/1/27 | 2014/4/21 | ローム0.18um | 平成26年度第1回 |
| 2014/4/14 | 2014/7/7 | ローム0.18um | 平成26年度第2回 |
| 2014/6/9 | 2014/9/1 | ローム0.18um | 平成26年度第3回 |
| 2014/7/14 | 2014/10/6 | Onsemi-三洋* | 平成26年度第1回 |
| 2014/8/25 | 2014/11/1 | ローム0.18um | 平成26年度第4回 |
| 2014/11/3 | 2015/1/26 | ローム0.18um | 平成26年度第5回 |
| 2014/12/29 | 2015/3/23 | Onsemi-三洋* | 平成26年度第2回 |

*「Onsemi-三洋」は0.8umCMOSの試作ランです

◆平成26年4月から消費税改定に伴いチップ試作費用が改定されます

これまで VDEC のチップ試作費用改定の際には十分前もっての通知を行っておりましたが、平成26年4月からの消費税5%から8%の改定に伴い VDEC のチップ試作費用につきまして消費税相当分の改定をさせていただきます。平成26年4月1日以降納品分(ローム0.18um2014年2月試作、オンセミ0.8um2014年3月試作が対象予定)から新価格を適用させていただきます。新価格に関しましては近日中に WEB に掲載いたします。(池田 誠)

◆第8回 D2Tシンポジウムを開催しました

昨年10月24日(木)に東京大学武田ホールにおいて、第8回D2Tシンポジウムを開催致しました。今回で8回目となるD2Tシンポジウムですが、朝10時から夜の懇親会まで、招待講演、パネルディスカッションなどを中心に活発な議論を行いました。

特に今回は、「アドバンテストD2T 寄附研究部門」が2013年10月から3期目(3年間)の活動を開始した節目のシンポジウムということで、VDECの浅田センター長、アドバンテストの代表取締役会長の丸山利雄氏の挨拶に始まり、多くの招待講演、「Challenges and Solutions for Future LSI Systems and Testing」と題したパネルディスカッション、懇親会、と盛沢山な内容でした。大学関連、産業界、などから約140名の

方に参加頂きまして、大変盛況だったと思います。これからもD2Tシンポジウムを開催致しますので、今回参加された方も参加されなかった方も、引き続き参加をお願い致します。(小松 聡)



VDEC デザインアワード募集のお知らせ

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/designAward/welcome.html>

3年前から、VDEC デザインアワードを創設し、VDEC を通じて試作したチップの中から特に優秀なチップを選定して1年間に数件程度を「優秀賞」および「奨励賞」として表彰しております。応募は主に指導教員による推薦とし、試作チップの技術内容をA4 1ページ程度でまとめたものを提出いただきます。既発表/未発表は問いません。また、試作の時期も問いません。

VDEC 協力教員が選考委員となって1次審査を行い、かつ、今年は1次選考通過者は8月開催予定のデザイナーズフォーラムにてポスターセッションに参加していただき、そこでのフォーラム参加者全員および選考委員による重み付き投票によって2次審査を行い、その通過者に最終選考となるプレゼ

ンを行っていただき、その内容によって優秀賞1件と奨励賞を決定し、フォーラム内で表彰いたします。

今年のデザイナーズフォーラムはDAシンポジウムと共同で開催しようと準備しておりますので、これまでとは一味違った発表会になると期待しています。なお、VDEC デザインアワードの応募は3月末締切を予定しております。多数の応募をお待ちしております。(名倉 徹)



(去年表彰式のオープニング)

春のCAD講習会のお知らせ

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/CADTraining.html>

今年も3月に入ってから春のCAD講習会を開催いたします。好評いただいておりますVDEC拠点校(北大・東北大・金沢大・東工大・名大・京大・阪大・広大・九大)へのストリーミング配信を今回も実施し、

拠点校での受講が可能となっております。ぜひCAD講習会を有効にご活用いただき、設計力向上にご利用いただければ幸いです。(名倉 徹)

CADツール利用状況アンケート・VDEC利用成果論文等の登録・チップ試作レポートに関するお願い

毎年度末、ユーザの皆様には、年報に掲載する論文リストや試作レポート、また、CADツールの利用状況アンケートのご提出をお願いしております。今年度も、2月3日に登録ページをオープンし、募集を開始させて

頂きます。ご提出頂いたデータは、VDECの活動に協力して頂いているチップメーカーやCADベンダに対する重要なフィードバックとなります。皆様のご協力をお願い申し上げます。(松本 剛史)

● 期間：2/3(月)～3/14(金)

登録ページ： CADツール利用状況アンケート <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/cadenq.html>

VDEC関連論文リスト <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/ronbun.html>

VDECチップ試作レポート <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/nenpo.html>

2014年度CADツール利用登録について

2月17日(月)より、来年度のCADツール利用登録を開始致します。今年度の利用登録に関わらず、登録手続きが必要となりますので、下記ページより登録を

お願い致します。新年度の利用登録がされない場合、5月1日以降、CADツールの利用ができなくなりますので、ご注意ください。(松本 剛史)

登録ページ： <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/announce.html> (2月17日～)

<注意事項>

- ・詳細は、CADuser MLならびに上記ホームページにてご案内致します
- ・今年度CADツールをご利用の場合、「使用者リスト」のご提出が必要です
- ・新年度の利用登録には「覚書」の郵送も必要です(今年度の「使用者リスト」と同封可)

東京電機大学 堀尾研究室

東京電機大学 大学院先端科学技術研究科
複雑集積回路システム研究室

<http://www.ees.dendai.ac.jp/labo/horio/horio.html>

複雑集積回路システム研究室では、複雑系ダイナミクスを利用した新しい情報処理パラダイムの研究や、数理モデルや数学理論に基づいた、ちょっと変わったアナログ集積回路システムの研究を進めています。特に、高次元カオス結合系を用いた実数計算に注目していますが、カオスの情報処理能力は実数の複雑さに由来しているため、実数を連続値として扱えるアナログ回路での実装が重要です。そのため、様々なカオス発振回路やカオスニューラルネットワーク、カオスタブサーチ回路システム、さらには、エルゴード理論や数論に立脚した実数の実数基底による展開すなわち A/D 変換回路などを、VDEC から提供いただいている CAD ツールを使って設計・実装しています。複雑系計算に対しては、いわゆる合成による解析（あるいは構成論的アプローチ）、すなわち、とにかく作ってみることが重要で、目的の複雑系集積回路システムを作ってその動作や性能を測定・評価し、数理モデルとの対比により理論と実装技術の両方の深化を目指しています。当研究室は、FIRST 合原最先端数理モデルプロジェクトに参画している他、10 大学合同で月例研究会や夏の大会合宿などを開くなど、賑やかに活動しています。



VDECスタッフより…

「D2Tの2は…」

Two ではなく、to なのですよ。」と浅田センター長に教えてもらってから、早 6 年。「アドバンテスト D2T 寄附研究部門」で事務補佐員をしている岡崎真紀子です。主な仕事は、国内外から着任してくる D2T スタッフのための事務処理や経理、そして概ね一年に一回開かれる「D2T シンポジウム」に関する事務補佐を担当しています。

7 年目ということで今は慣れてきましたが、やらかした失敗は数知れず…落ち込むことも多々ありますが、D2T スタッフのジェントルマン達や VDEC 女子会に助けられています。家に帰れば、夫と娘の三人で一風変わった旅をたまに楽しむ普通のおばさんです。(写真は昨年 3 月の北海道・ウトロでの流氷ウォーキングです。)

さて次回開催予定の「D2T シンポジウム」も、微力ながら事務補佐役の私も誠心誠意準備して、「お・も・て・な・し」しますので、皆様の多数のご参加をお待ちしています。(残念ながらコンパニオンガールはおりませんので、あしからず…) (岡崎 真紀子)

